

令和2年1月24日

第1回大腸CT専門技師認定試験における 新型コロナウイルス感染症対策について

特定非営利活動法人
日本大腸CT専門技師認定機構
理事長 鈴木雅裕

受験者のみなさまへ

令和2年2月14日開催予定の第1回大腸CT専門技師認定試験の実施につきまして、十分に検討を行った結果、感染拡大予防の対策を最大限に講じたうえで、予定通り実施することといたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、以下のとおりといたします。

今後、新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境の変化に応じ、対策の内容追加・変更等する場合には、このページにてお知らせいたしますのでご注意ください。

受験者のみなさまおよび関係者のみなさまの、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○ 第1回大腸CT専門技師認定試験については、以下に示す新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、実施方法及び合格者の決定の方法は変更せずに実施する。

○ 試験会場内における受験者間の間隔を十分確保する。

○ 会場入口にて検温を実施し、37.5度以上の者は受験を認めない。

※ 37.5度以上の発熱がない場合においても、咳等の症状を認めた受験者は同様の取扱とする。

○ 保健所から濃厚接触者に該当するとされた者は受験を認めない。

※ 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等から日本に入国した者を含む。

○ 試験当日に新型コロナウイルス感染症に罹患し、入院中・宿泊療養中・自宅療養中の場合は受験を認めない。

○ 上記理由により受験出来なかった受験者について追試験は行わず、翌年度の受験を認める。

※ 納付された受験料の返還は行わず、翌年度受験時に改めて受験票の発行を行う。

○ 受験者施設の事情にて受験が困難な場合には、施設長（または所属長）による理由書等の提出により確認のうえ、翌年度の受験を認める。

受験者の皆様は以下の点にご留意下さい。

試験前日まで

(1)医療機関での受診

発熱（37.5度以上）咳等の症状がある受験者は、あらかじめ医療機関での受診を行うこと。

(2)「新しい生活様式」の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うこと。

(3)新型コロナウイルス感染症に罹患した・濃厚接触者に該当した場合

試験当日に入院中・宿泊療養中・自宅療養中となる場合や、濃厚接触者に該当した場合にはあらかじめ機構事務局まで申し出ること。

機構事務局連絡先：office@ctc-nintei.org

試験当日

(4)試験当日における対応

発熱（37.5度以上）咳等の症状がある又は濃厚接触者である受験者は、その旨を緊急連絡先（別掲）に申し出を行い、試験会場へは向かわないこと。

症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験会場内では常に着用すること。休憩時間等における他者との接触、会話を極力控えること。

(5)試験当日の防寒対策等

試験会場の換気のため窓の開放等を行うことがあるため、暖かい服装等とすること。また、試験会場内での飲食は認めない。

(6) 試験監督員の指示に従うこと。

指示に従わない場合には受験をさせない、あるいは受験を停止させる場合がある。

試験日以降

(7)保健所等関係機関との連携・協力

試験会場において、受験者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、保健所等関係機関の要請により受験者の連絡先等の個人情報を提示することがある。